



【一緒にヨルダン川を渡りましょう。】

今日の聖書本文:ヨシュア3:1-6/暗唱聖句:へブル人への手紙11:1

説教者:鄭南哲牧師

(Rev.Jung nam_chul)

今から約50年前イギリス海を往復で泳いで話題となったフロレンスチェドウィック(Florence Chadwick)という水泳選手がいました。ところが、彼女が36才になった1952年7月4日、LAからそんなに遠くないとっても美しい島であるカタリナ島からカリホニア海岸まで泳いでいくと宣言しました。それでアメリカではかなりの話題となりました。アメリカのTVは全国でこの光景を放送しました。そして、その到着時間に合わせて多くの人々が彼女を待っていました。16時間ほど彼女は泳ぎ続けました。すると突然深い霧(きり)のため、必死で泳いでいたフロレンスはだんだん力が抜けてきました。そして、結局あきらめて自分の後ろについてきていたボートに乗ってしまいました。とっても残念なことでした。彼女があきらめてから陸地に着いたら霧のため見えなかった距離は陸地からたった500メートルもなかった距離だったのです。この失敗の後、どうして失敗したと思うのかの質問を記者から聞かれたときフロレンスはとっても意味深い答えをしました。“寒さのためでもありません。疲れたからでもありません。実は霧のためでした。もっと正確に申しますと、霧のため自分自身が目標を見ることができなかったからです。目標地点(ちてん)が見えたならなんとかして着いたと思います。”

彼女にとって霧は最後の障(さわ)りだったのです。そして、この障害物を乗り越えなかったことが失敗の要因となったのです。エジプトを出て荒野を通過してカナンに入るためにはならなかったイスラエルの民にとってヨルダン川はカナンに入る直前の最後の障害物であって、彼らがカナンに入るということは夢の成就であって、目標の実現を意味していたのです。ですから、ヨルダン川は彼らが目標を実現させるため乗り越えなければならない最後の課題として認識されていたのです。今日はこの本文を通してヨルダン川を渡らせるため神様がどういう御業をなさったのかをともに考えたいと思います。今年も我々個人や教会が乗り越えなければならない試練の川を渡らせるために神様は我々に何を求めておられるのでしょうか。神様の助け、そしてイスラエルの民たちの模範を本文をとおして学んでみたいと思います。

始めに、神様は最善を尽くしてこのヨルダン川を渡るように準備をさせました。最善の準備ができるようにとあらかじめ備えさせてくださったのです。本文をみると、“ヨシュアは翌朝早く”という言葉で始まっています。この表現はただ、彼がある日、偶然早く起きた単純に考えてはいけません。ヨシュア記を読んで見ると、この表現はとっても大切な意図をもって繰り返されていることがわかります。たとえば、“翌朝、ヨシュアは早く起き、祭司たちは主の箱をかついだ。(ヨシュア6:12)”、“そこで、ヨシュアは翌朝早く、イスラエルを部族ごとに進み出させた。するとユダの部族がくじで取り分けられた。(ヨシュア7:16)”、“ヨシュアは翌朝早く、民を召集し、イスラエルの長老たちといっしょに、民の先頭に立って、アイに上って行った。(ヨシュア8:10)”ヨシュアが年老いて朝の睡眠が浅くて起きたと考えるはいけません。朝早く起きてヨルダン川を渡るための没頭(ぼつとう)している指導者の姿を聖書は表しているのです。

ヨシュア書1章をみるとモーセが召されました。イスラエルの民をいままで導いてきた指導者が亡くなったわけです。モーセの従者(じゅうしゃ)だったヨシュアが新しい指導者として選ばれました。彼はいままで仰ぎ見ていた指導者のモーセの後を継いでイスラエルを導いてカナンに入らせなければならない課題を目の前にしていました。

ヨシュア書1章3節で神様はこう仰せられました。“あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたに与えている。”確実な神様の約束です。そういうわけですから、カナンへの地は神様の約束、神様からの贈り物としてその御民に与えようとしたのです。しかし、神様が備えてくださった地なのですが、ただで入るようにされたのですか。違います。それが確かな神様の約束にもかかわらず、神様はその約束の地を所有させるためにイスラエルの民たちがヨシュアとともに準備するようにとされているのに注目しなければなりません。偉大な未来は準備する人々の分だと信じます。

世界第二戦争が始まった時、イギリスの国民は深い絶望と敗北感に捕らわれていました。この時ウィンストンチャーチルがイギリスの議会で国民に向けて語ったメッセージがもう一度イギリスの国民を立たせるきっかけになったそうです。その内容をまとめるとこれです。“愛する大英帝国(だいえいていこく)の国民のみなさん、我々はもはや古い時代を後にして、新しい時代を迎えるための最後の戦いを目前にしています。これはかならず勝つべき戦いであり、我々はかならず勝てます。我々は海岸でも、町でも、野原でも、丘でも戦い続けます。我々は我々の国を守ります。しかし、我々の祖国を守り切るために、新しい世紀を開くためには代価を払う覚悟をしなければなりません。いまは我々のあせ、我々の血、涙、そして我々の最善を民族のために尽くす時です。”このメッセージがまさしくイギリスの国民を新しい決意と新しい準備に入らせる切っ掛けとなったということです。

愛するクリスチャンプレイズチャーチのみなさん!

偉大な夢は代価を払わなくてはかなえられません。カナンへの地に入るため彼らが渡らなければならないヨルダン川に彼らは最善の覚悟と準備に取り組みます。朝早くから起きて主から与えられた新しい課題に挑むために備えていたイスラエルの姿が私とみなさんの姿であるように主の御名によって祝福します。

二つ目、ヨルダン川を渡るために神様が命令されたもう一つがあります。それは主のみをみあげることです。つまり、主だけを

みあげながら行進させたのです。

“民に命じて言った。「あなたがたは、あなたがたの神、主の契約の箱を見、レビ人の祭司たちが、それをかついでいるのを見たなら。…(ヨシュア3:3)”

ヨルダン川が目の前にあって、渡らなければなりません。その民に神様は契約の箱を見て、動くようにと命じられました。イスラエルの民にこの契約の箱はとっても大切な意味を持っていました。この契約の箱は神様の臨在の象徴でした。この契約の箱をかつぐ祭司たちの位置は先頭でした。いつも一番前です。ですから、契約の箱を一番前にしてついていくというのはどんな意味ですか。主がさきに行かれる。つまり主が導いて下さるという意味です。

“その契約の箱を見て動きなさい”ところが、そこに付け加えられた警戒がありました。4節です。“あなたがたと箱との間には、約二千キュビトの距離をおかなければならない。それに近づいてはならない。それは、あなたがたの行くべき道を知るためである。あなたがたは、今までこの道を通ったことがないからだ。”(ヨシュア3:4)

不思議なのはその契約の箱に近づいてはいけないと言われたことです。なぜだったのでしょうか？

いま荒野を歩いているイスラエルの民の数は少なくありませんでした。ある聖書学者によると100万人以上、約150万人ほどだったのではないかと推測しています。こんなに大勢の人が荒野を通る時もし、契約の箱をすぐ前に配置したならどんな問題が起こるのでしょうか。前のいくつかの列を除いては後ろにいる人々にはこの契約の箱が見えなかったでしょう。そういうわけですから、契約の箱に近づかないで、離れた距離、つまり契約の箱をかついで行進している祭司たちと民たちの間を二千キュビト置くようにと命じられたのです。それはほど1キロメートルくらいです。かなりの距離です。なぜでしょうか。その理由は一つです。すべての民が契約の箱が見えるように、みなそこに焦点を合わせるためでした。

もし、契約の箱が群れのすぐ前にあったなら、イスラエルの民に見えるのはただ前にいる人の後頭部(こうとうぶ)だけだったかもしれません。そしてその回りの人々の様々な雑の話がすぐ聞こえたかもしれません。その中である人はつぶやいたり、うらむ話ばかりしたかも知れません。大勢の人々がともに移動する時、すぐ近くの一人一人の人の言葉は自然に影響を与えるでしょう。特に否定的な言葉はなおさらだと思います。しかし、この大切な行進を目の前にして主は命じられました。“契約の箱を見なさい。”それは神をみあげなさい。歴史の主となる神をみあげなさい。我々に人生の主なる神をみあげなさい。あなたを救い、いままで、ここまで導いてくださった神のみをみあげなさいというメッセージだったのです。我々は主を見上げていますか。それとも人々を見上げていますか。それとも目の前の障害物であるヨルダン川を見上げていますか。人々の話を聞いていますか。それとも主から与えられた御言葉を聞いていますか。

“わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。(マタイ 4:19)

ヨハネの福音書 10 章を良い牧者の章だと言われています。“わたしは良い牧者です。”(ヨハネ 10:14)ここで牧者と羊の関係を語りながら主が強調される一つがあります。“牧者がさきに行くと羊はその声を聞いて、その声を知っているため従ってくる”ということです。先に行かれる牧者!そうです。主はいつも私たちより先に行かれます。ですから、我々は主が私たちを導いて下さるという事実を信じて主だけを見上げて進んでいくなかならずヨルダン川を我々も渡れると信じます。

三つ目、このヨルダンを渡るために民たちに聖くするようにと命じられました。

5 節”ヨシュアは民に言った。「あなたがたの身をきよめなさい。あす、主が、あなたがたのうちで不思議を行なわれるから」

ヨルダン川を渡る前に彼らが神様に聞いた言葉はおそらくどうすればヨルダン川をもっと容易く、簡単に渡れるか具体的な方法だったと思います。どうすれば、身の回りのことが順調にすすむのか。自分の悩みと問題が簡単に解決できるか。我々も同じくこの質問に関心を持っています。しかし、神様はそれよりか、むしろそれらのこととは関係のないことを要求されています。“あなたがたの生き方をきよめなければならないのだ”です。

ヨルダン川を渡るのとこれとはなんの関係があるのでしょうか。そうです。とっても大切な関係があります。イスラエルの民がヨルダン川を渡る前に、カナン地の地に入って新しい生活の基盤を作る前に神様はイスラエルの民の生き方がきよめられなければならないと命じられました。なぜなら、神様はきよい器を用いるからです。神様が使えない器はありません。御国では大きい器、小さい器、みなが必要です。しかし、唯一、汚れた器は使えません。“自分の身をきよめなさい。”神様は我々にもこう語っておられます。“「わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならない。」(第一ペテロ 1:16)

主は言われます。“自分の身をきよめなさい。”これこそ、神の民たちである我々に、そして我々の教会に向っての命令ではないかと思えます。次についてくる約束をみてみましょう。神様の御前で自分をきよめれば、“主が、あなたがたのうちで不思議を行なわれるから。”つまり、あなたがたがきよくすれば、わたしは不思議な奇跡を起こそう。ほかは心配しなくても良い。なぜなら、わたしが責任をとるから。と約束されます。そうです。我々が神様の御心になつた人になれば、ほかすべては神様がしてくださるのです。私たちが生活の純潔を守って行く時、我々は神様に用いられ、神様も我々がヨルダンの川を渡るように助けてくださると信じます。

例え)アメリカで南北戦争が真っ最中だったとき、まだ北軍(きたぐん)が不利なときでした。そのときリンカン大統領の参謀長(さんぼうちょう)がリンカンに来てこう言いました。“大統領閣下(だいとうりょうかつか)、神様は我々の北軍の味方でしょうか、南軍におられるでしょうか。”こんな質問を受けた時、リンカンは有名な答えを残しました。“私にそんなことは大切ではない。自分が神様の方に立っているのが大切なのだ。”

我々もいろんな障害物を乗り越えるために神様の助けを求めましょう。神様の祝福を願うでしょう。しかし、いざ、自分自身は神様の助けをいただくのにふさわしい人となるのに真剣に悩んでいるのでしょうか？

神様が自分を祝福されそうな、神様に喜ばされる座にいるのなら、そして、自分の身をきよめ、主が私のことで喜び、感激しそうな要素が自分にあるなら、我々はかならず、神様が最後まで責任を負ってくださるということをも信じましょう。

「あなたがたの身をきよめなさい。あす、主が、あなたがたのうちで不思議を行なわれるから」

四つ目、ヨルダンを渡らせるために主はもう一つ命令されます。信仰によって前に進みなさい。信仰の行進を命令されたのです。”ヨシュアは祭司たちに命じて言った。「契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って渡りなさい。」そこで、かれらは契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って行った。”(ヨシュア 3:6)

契約の箱をかついで民の前に進みなさい。ヨルダン川を渡るようにと命令されました。しかし、一つの問題があります。ヨルダン川の水が乾いたときではなく、波がざぶりざぶり揺れ動いている時期だったことです。もし、みなさんが神様だったのなら、愛する民たちがヨルダン川を渡る時期をいつにしたと思いますか。雨が降らない季節、ヨルダン川が乾いていた季節だったのならどれだけ良かったでしょうか。しかし、とっても興味深い事実がもう一つあります。15 節です。いまに言うとも 3-4 月くらいの時期ですが、凍っていた川も溶け、水の多くなる、一番ヨルダン川を渡りづらい時に渡るようにと命じられたのです。それがチャレンジです。波がざぶりざぶり打ち寄せています。何一つ渡れそうな要素はありませんでした。なのに、神様は命じられます。“前に進みなさい。”

みなさん、ヨルダン川が分かれましたか。ヨルダン川の前に立っていたヨシュアや祭司たちが神様に先に祈りながら、ヨルダン川に向って、“主の民が渡るのだ。ヨルダン川よ。分かれない。”と叫んだら、川が分かれましたか。全然そんな状況ではありませんでした。どんな状況の中でヨルダン川が分かれるのかをみてみてください。15 節に、“箱をかつぐ者がヨルダン川まで来て、箱をかつぐ祭司たちの足が水ぎわに浸った時—ヨルダン川は刈り入れの間中、岸いっぱいにあふれるのだが。”

まだヨルダン川は岸いっぱいにならぬままあふれています。問題は消えず、自分の目の前に置かれているのではありませんか。川が分かれるなら、動けるのに、神様はただ前に進みなさいと命じられるのです。しかし、ここで、“神様、従ってみます。しかし、私の前には水があります。ですから、これ以上行けません。”と答えなくて、“主が命じられるのにはそれなりの理由があるだろう。神様が神様の方法を備えてくださったかも。”と神様だけを信じて、まだあふれているヨルダン川に向ってはじめての一步を踏み出した瞬間、信仰の一步を踏み出した瞬間、ヨルダン川はせき止められし始めたのです。

みなさん!これこそが信仰であり、信仰の行進です。問題は我々の前にあります。しかし、神様は前に進みなさいと命じられます。主だけを信じます。私にはこの問題への解決がありません。しかし、全能の神様だけを信じて行きます。賛美しながら行きます。私はただ私より先に行かれる神様のみを信じます。と祈りながら進む時、自分の前に置かれている障害物が解決される奇跡をみると信じます。これがまさに聖書からの教訓なのです。“信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。(ヘブル 11:1)”

私はメッセージの一番最初にフロレンス・チェドウィック(Florence Chadwick)という水泳選手の話ではじまりましたよね。彼女のその後の話で今日のメッセージをまとめたいと思います。彼女が水泳横断に失敗してから後 2 ヶ月後もう一度挑戦しました。海の水は前よりもっと冷たかったのです。そして、2 番目挑戦したその日には前よりもっと霧(きり)も深かったのです。今回は海辺全体を霧が立ち込めていたので、もっと悪条件の中で二回目をチャレンジした時に結局彼女は成功し、泳いで渡ることができました。記者たちは彼女にこう尋ねました。

“どうやって今回はもっと悪環境や条件の中なのにもかかわらず成功することができたと思いますか。”

その時、フロレンスさんはとても面白く答えます。“今回は私の心の中に目標が続けて見えていたからです。”

前は霧のため自分の目の前に目的地が見えてないため自分の目標をうしなってしまったのですが、今回は彼女がその以前より深い霧の中なのにもかかわらず自分の目標がちゃんと見えていたということでした。

環境的にはそれが見えなくても彼女は自分の心の目で、もうすでに到達(とうたつ)すべきカリホニア海岸の光景を続けて見ていたからということでした。愛するみなさん! 私たちはこれをビジョン(vision)だと呼びます。

今日私たちの前にある渡るべきヨルダン川のような障害物は無いですか。

今日ヨシュアとイスラエル民たちのように私たちも神様が今年我々のために備え約束されたところに着き、新しい人生を味わえることができる祝福がみんなに与えられるように切に祈ります。新しい 2013 年また以前のように、昨年のような繰り返しのようには生きませんよう願います。まだみなさんに到達すべき向こう側が何も見えない時かも知れませんが、神様がかならず渡るように助け、導いて下さるお方であることをもう一度強く信じて下さい。我々一人一人に、そして我々の主の教会に対してもっておられる偉大な歴史と夢を信仰によって見ることが出来る人たちのみがかならずその祝福の約束の地に入れるようにさせて下さると信じます。今主の御前でみなさんが信仰の目で見ている通りにならず今年もその通りになります。

始まった今年一年、そしてこの 2 月に特別な偉大な勝利のビジョンの行進、信仰の行進となるクリスチャンプレイズチャーチのすべて神の家族となりますように主イエスキリストの御名を通して祈ります、祝福します。アーメン!

<今日の聖書の箇所>

1ヨシュアは翌朝早く、イスラエル人全部といっしょに、シティムを出発してヨルダン川の川岸まで行き、それを渡る前にそこに泊まった。

2三日たってから、つかさたちは宿営の中を巡り、

3民に命じて言った。「あなたがたは、あなたがたの神、主の契約の箱を見、レビ人の祭司たちが、それをかついでいるのを見たなら、あなたがたのいる所を発(た)って、そのうしろを進まなければならない。

4あなたがたと箱との間には、約二千キュビトの距離をおかななければならない。それに近づいてはならない。それは、あなたがたの行くべき道を知るためである。あなたがたは、今までこの道を通ったことがないからだ。」

5ヨシュアは民に言った。「あなたがたの身をきよめなさい。あす、主が、あなたがたのうちで不思議を行なうから。」

6ヨシュアは祭司たちに命じて言った。「契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って渡りなさい。」そこで、彼らは契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って行った。

<MEMO>

1. 今自分には渡るべきヨルダン川のような障害物は何だと思えますか。

2. 神様に対する信仰の行進と目標のところに着くために4つのポイントの中で自分に必要な部分は？

3. 今日のメッセージで教えられた点や悟られたは？

